



# Learning View

ラーニング ビュー

## 確かな学力の育成 ～まなチャレ教材を活用し、「書くこと」の力を育む～

前号に引き続き、「まなチャレ教材」〔以下、本教材〕を活用した授業づくりのポイントをお伝えします。今号では、本教材を活用した英語の授業実践を通し、「書くこと」（特に、まとまりのある文章を書くこと）をどのように指導するかを紹介します。

本教材は「書くこと」の目標の「イ」を受けて、次の〈育てたい力〉を設定しています。

### 〈育てたい力〉

日常的な話題(なりたい職業)について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる力。

(第1回「まなチャレ教材」資料 中2英語 より)



### まとまりのある文章を書くための指導内容

- ◆「導入-本論-結論」や「主題-根拠や具体-主題の言い換えや要約」等、構成を意識させて、一貫性のある内容を考えることができるようにする。
- ◆そのためにも、目的や場面、状況等に応じて何をどの順番で伝えるか、自分の考えを整理できるようにする。

## ☆まなチャレ教材を活用した授業の実際☆



まとまりのある文章について、具体的にどれくらいの分量で、  
どのような構成なのかを考えさせる。

### 【導 入】相手に内容をより分かりやすく伝えるために必要なことを考える

Today's Goal

Writing

easy ? or difficult?

I like soccer.

I like Takefusa Kubo.

I like Nagatomo. I like...

これでOK?



This is writing too. Is this, OK?

No.



では、どのような改善点が必要だと思いますか。

1つのことについて、詳しく伝えた方が良いと思う。like 以外の表現も使うと詳しい内容になりそうだね。



理由や感想などを加えると、より伝わりやすい文になりそう。4文くらいであれば、私も書けるかもしれない。



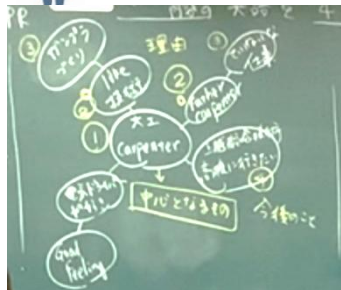
大切にしたい学習過程 **伝えたい内容を整理→言語活動→表現の改善→言語活動**

## 【展 開】コミュニケーションにおける目的や場面、状況を考えながら言語活動を行う

### (1) 教材を読んだ後、伝えたい内容を構想メモに書き出し、伝える順番を考える。



私はこのように構想してみました(板書)。どの情報から伝えれば良いと思いますか。



教師の構想メモを板書し、  
生徒の発言をもとに番号をつける

①まずは、大工 (a carpenter) かな。これは中心 (主題) となる内容だからね。

②次は、好きな教科とか、Father, a carpenter(お父さんが大工)など、理由を伝えると良いと思う。

③その次に、その詳しい内容や例があると、より伝わると思う。

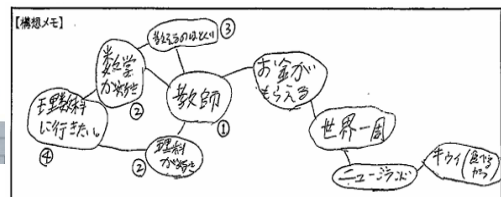
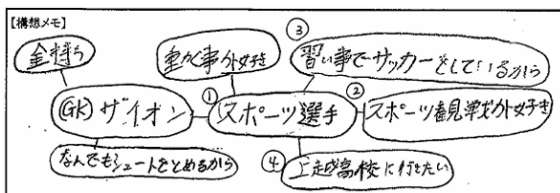
④最後に、今後のことを伝えると良いと思います。これで、4文程度になるね。



自分の構想メモにも、このような内容があるかな。これを参考に伝える順番も考えよう。



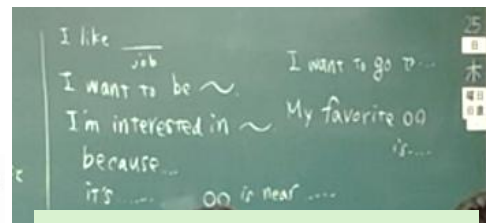
### (2) 英文で書き出す前に、構想メモをもとに話す。



### (3) 必要な言語材料を対話や板書等で確認する。

- ・ 中心となる内容を伝える表現
- ・ 理由や具体例を伝えるときの表現
- ・ 言いたかったけど言えなかった表現 等

これらはどう表現すれば良いかな。



生徒の発言をもとに板書を作成

### (4) メモや板書等で確認した表現を参考に「まとまりのある文章」を書く。



I'm interested in sport プレイヤー。  
Because I like play sport.  
I want to go to joetsu バイスクール。

I want to be teacher.  
Because I like math and science.  
I teach math well.  
I go to math and science カンジエクト ハイ school.

## 【終 末】〈育てたい力〉を基に、本時の学びやできるようになったことを振り返る

- ・ 使えた表現や今後使いたい表現、英語で文章を書くことについて学んだこと

「I want to be ~」などの表現を使えた。色々な表現で文を書くことができた。英語で文章を書くときは主題を決めて、たまたま理由などをつけ加えるのが良いことが分かった。これから、単語などをたくさん覚えて想像力をふくらませていきたい。



## 生徒の学びを見取り、授業改善を行う。(指導と評価の一体化)

### 記述から見取った生徒の学習状況

- ◎「まとまりのある文章」の構成等はほとんどの生徒が捉えることができた。
- 不定詞を使った表現等は、板書で示すことで活用できる生徒が多かった。
- △接続詞 because の使用や簡単な単語を書くことに課題がある。

### 見取りを活かした次時の授業案

- ①Small Talk など、**話す活動でも伝えたい内容の整理と構成を意識**させる。
- ②不定詞の他の用法や if や when、未来形などにも必要に応じて板書し、活用を促す。
- ③because だけでなく、and や but、so なども含め、文脈の中で繰り返し活用させ、その役割と使用方法を指導する。
- ④Small Talk などの言語活動の後は、「書き起こし」を行い、ペアでチェックする。



ここにも注目！

## 学習過程を意識し、単元の中でまなチャレ教材と評価問題を活用する

「テーマについて考えを整理し、まとまりのある文章を書く力」を育成するための学習過程

1. コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを把握し、学習の見通しをもつ
2. 情報を収集し、整理する
3. 内容と構成の検討を行い、表現する
4. 内容と構成を再構築し、表現を改善する
5. 学んだことを言語活動で再び活用し、学習を振り返る



学習指導の改善・充実に関する指導資料（中学校英語）事例3 p.16（国立教育政策研究所教育課程研究センター）

### 資料へのリンク：

[https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou/eigo/pdf/eigo\\_All.pdf](https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryou/eigo/pdf/eigo_All.pdf)



上の図は、中学校英語指導事例集（令和3年4月）「テーマについて考えを整理し、まとまりのある文章を書く」で紹介されている単元を通した学習過程です。学習過程の5（単元の終末）にもあるように、生徒が学んだこと言語活動で再び活用し、学習を振り返ることが必要です。

例えば、まなチャレ教材を活用し、「まとまりのある文章」の構成について学んだ後、単元のテーマに沿って学習を進めます。学習過程の3～4（単元の中盤）では、まなチャレ教材で学んだ構成の視点を再確認し、更に深めていきます。そして単元末に、まなチャレ教材の評価問題を活用し、生徒が自身の学びを振り返れるようにします。

## 教科書教材の単元にまなチャレ教材を組み込む活用例

（例）単元の目標 PROGRAM3 Taste of Culture〔Sunshine English Course ② 開隆堂〕  
「ALT の〇〇先生は、地域のイベントでお店を出すことになりました。  
〇〇先生が作ってみたいくなるようなお勧めの屋台料理本を作ろう」「書くこと」

① まなチャレ教材で学習する。



より伝わる文章にするためには、  
主題→理由（根拠）→主題の言い換え  
が大切だということが分かった。

② 単元の目標を確認し、自分の考えを書く。  
ALT にインタビューをして、情報を収集する。  
情報を整理し、言語活動を行う。



〇〇先生が得意なことって  
なんだろうね。どんな料理を  
作りたいと思っているかな。

③ 教科書で学んだ表現等を活用し、料理の紹介文を書く。

先生の出身（国）と関連する  
料理はどうか。屋台に  
合う料理は・・・

④ これまで学んだことを活かし紹介文を改善する。

料理名を紹介したら、お勧め  
の理由、作り方や食べ方を紹介  
しても良いと思うよ。



⑤ 友達が書いた紹介文を読み、コメントを書く。

⑥ まなチャレ教材の評価問題を行い、  
単元の学びを振り返る。



読み手が求めていることや、  
状況によって伝える内容や順  
番を考えて書くことができた。

まなチャレ教材のテーマと教科書教材のテーマに違いがあり、まなチャレ教材を使いづらいている方もいるかもしれません。しかし、単元の指導領域を〈育てたい力〉に合わせることで、一貫性のある指導が可能になります。ぜひ、まなチャレ教材と評価問題の活用をお願いします。

### まなチャレ教材と評価問題の積極的な活用をお願いします。



本号では詳しく紹介していませんが、評価問題には採点基準も示されています。これらは単元の目標や評価基準を設定する際に参考にしてもらいたい視点であり、普段の授業においても意識したい事項でもあります。指導と評価の一体化を図るためにも、ぜひ目を通していただき、まなチャレ教材と評価問題の活用をよろしくお願いします。

まなチャレ教材や評価問題の活用に関して質問や相談等がある場合は、遠慮なく学校支援第2課までお問い合わせください。子どもたちの資質・能力と一緒に育みましょう。

#### 採点基準

##### 【内容面】

- ①「どこで職場体験をしたいか」について、中心となる情報を1文以上書いている。
- ②その場所を選んだ理由を書いている。
- ③上記2つに加え、補足や説明を一貫性のある文章で書いている。

##### 【言語面】

（多少のミスがあっても）コミュニケーションに差支えがない表現で書くことができています。

2026 第1回 英語 評価問題 2年生より

### お知らせ

本誌で紹介した実践の指導案（略案）を Tea Room 内のコミュニティ（NEG：Niigata English Group）に投稿していますので、他の情報と合わせてご覧いただければと思います。

